

「週休2日」試行工事実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、鹿児島県環境林務部が所管する建設工事において、「週休2日」試行工事を実施するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 建設業界においては、若手技術者の入職が減少し、将来にわたる安心安全な社会資本の維持に支障が生じるおそれがあることが懸念され、中長期的な担い手の確保・育成が大きな課題となっていることから、建設現場の将来の担い手確保のため、労働環境改善の取組として週休2日制が可能な環境づくりを推進することを目的とする。

(定義)

第3条 「週休2日」とは、対象期間内に4週8休以上、現場閉所等により当該現場の休日を確保することをいう。

2 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。ただし、次に該当する期間は含まない。

- (1) 夏季休暇3日間及び年末年始6日間
- (2) 工場製作のみを実施している期間
- (3) 工事の全部を一時中止している期間
- (4) 発注者による緊急・応急的な指示により、現場作業を余儀なくされる期間

3 4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所等により休日とした日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準の状態をいう。

4 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

5 休日とは、受注者が労働者に与える休日のほか、現場閉所日、降雨、降雪等による予定外の事由により、当該現場に労働者が従事していない日をいう。

6 工事着手日とは、工事開始日以降の実際の工事のための準備工事（現場事務所や工事看板等の設置（設置に伴う除草作業等を含む。）又は測量）、工場製作を含む工事における工場製作工のいずれかに着手することをいう。

(対象工事)

第4条 対象工事は、原則として環境林務部が所管する県営工事の全ての工事とするが、社会的要請により、早期の工事完成が望まれる災害時の応急工事等については、対象外とすることができる。

2 発注者は、前項の工事を発注する場合は、特記仕様書に「週休2日」試行工事の対象であることを明示するものとする。

(実施手続)

第5条 受注者は、施工計画書提出前に「週休2日」試行工事の実施の意向について、工事打合簿により発注者と協議し、実施の有無を決定する。なお、「週休2日」試行工事を実施しない

場合は、第2項から第4項までの規定は適用しない。

- 2 受注者は、施工計画書提出時に、4週8休以上の休日の取得計画を記載した「休日取得計画実績表（別紙1参照）」（以下「計画実績表」という。）を発注者に提出する。
- 3 受注者は、「週休2日」試行工事である旨を工事の標示施設に明示する。（別図参照）
- 4 受注者は、契約変更時及び工事完了後に休日の取得実績を記載した「計画実績表」を発注者に提出する。また、発注者の指示により、休日の取得状況が確認できる書類（工事日誌や出勤簿等）の提示を求められた際には提示する。

（工事費の積算）

第6条 発注者は、4週8休以上の休日を確保した場合の補正係数を各経費に乗じたうえで予定価格を作成するものとする。なお、「週休2日」試行工事を実施しない場合及び実施の結果、4週8休以上の休日確保に満たない場合は、その実施状況に応じて補正分を減額変更するものとする。

（実施証明）

第7条 「週休2日」試行工事を実施した工事で、4週6休以上の休日を確保した場合は、実施内容を記載した実施証明書（別紙2参照）を発行する。

（留意事項）

第8条 週休2日試行工事の実施に当たっては、以下の事項に留意することとする。

- (1) 発注者は、緊急時等やむを得ない場合を除き、休日に作業が発生するような指示等を行わない。
- (2) 発注者は、受注者からの協議等にはできる限り速やかに対応する。
- (3) 施工中における現場条件の変更等による工期延長は、従来 of 取扱いとする。
- (4) 資材搬入、交通誘導、調査業務及び運搬業務等の下請工事に該当しないものは現場での作業の対象としない。
- (5) 受注者が週休2日に取り組む場合、各経費の補正は対象期間全体に対する週休2日の達成状況により決定するものとするが、建設業の働き方改革を推進する観点から、受注者は1ヶ月ごとに4週8休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。

附則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

この要領は、令和元年10月1日から施行する。

この要領は、令和2年4月1日から施行する。

この要領は、令和3年10月1日から施行する。

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

現場閉所の状況に応じた補正係数

<労務単価，機械経費（賃料），共通仮設費率，現場管理費率>

現場閉所の状況 （現場閉所率）	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
現場閉所率	28.5%以上 (8日/28日以上)	25%以上28.5%未満 (7日/28日以上)	21.4%以上25%未満 (6日/28日以上)
労務単価	1.05	1.03	1.01
機械経費（賃料）	1.04	1.03	1.01
共通仮設費率	1.04	1.03	1.02
現場管理費率	1.06	1.04	1.03

<市場単価>

名 称	区 分	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
鉄筋工（太鉄筋を含む）		1.05	1.03	1.01
鉄筋工（ガス圧接）		1.04	1.02	1.01
防護柵設置工 （ガードレール）	設置	1.01	1.01	1.00
	撤去	1.05	1.03	1.01
防護柵設置工 （横断・転落防止柵）	設置	1.04	1.03	1.01
	撤去	1.05	1.03	1.01
防護柵設置工（落石防止柵）		1.02	1.01	1.00
防護柵設置工（落石防止網）		1.03	1.02	1.01
防護柵設置工 （ガードパイプ）	設置	1.01	1.01	1.00
	撤去	1.05	1.03	1.01
道路標識設置工	設置	1.01	1.01	1.00
	撤去・移設	1.04	1.03	1.01
道路付属物設置工	設置	1.02	1.01	1.00
	撤去	1.05	1.03	1.01
法面工		1.02	1.01	1.00
吹付砕工		1.03	1.02	1.01
軟弱地盤処理工		1.02	1.01	1.00
鉄筋挿入工 （ロックボルト工）		1.03	1.02	1.01

休日取得計画実績表

【記入例】

工事名 : ○○○○工事(○○○○2-○工区)
工事着手日 : 令和1年7月22日
工事完成届出日(予定) : 令和2年3月27日 工事期間 : 250日間

Table with 3 columns: 対象期間, 閉所日数, 閉所率. Rows: 計画 (241, 69, 28.6%), 実績 (241, 60, 24.9%).

Table with 2 columns: 休日相当, 残数. Rows: 28.5%以上:4週8休 (9), 25.0%以上:4週7休 (1), 21.4%以上:4週6休 (-8).

⑥現場閉所率が自動計算されます。

Main calendar grid for July 2019. Includes callouts: ①工事名, 工事着手日, 工事完成届出日(予定)を入力します。; ③夏季休暇, 年末年始休暇, 工事中止をプルダウンリストから選択し, 入力します。; ⑦各閉所率に対する残り休日数が表示されます。; 現場閉所率 32.0%.

Main calendar grid for August 2019. Includes callouts: ④予定している休日を計画欄に入力します。; ⑤実際に休んだ休日を実績欄に入力します。; 現場閉所率 32.1%.

Main calendar grid for September 2019. Includes callout: 現場閉所率 21.4%.

Main calendar grid for October 2019. Includes callout: 現場閉所率 17.9%.

Main calendar grid for November 2019. Includes callout: 現場閉所率 21.4%.

Main calendar grid for December 2019. Includes callout: 現場閉所率 27.3%.

Main calendar grid for January 2020. Includes callout: 現場閉所率 17.9%.

Main calendar grid for February 2020. Includes callout: 現場閉所率 25.0%.

Main calendar grid for March 2020. Includes callout: ②工事完成届出日以降は消去します。; 現場閉所率 30.8%.

Summary table for August: 2, 0, 28, 8, 28.6%, 9, 32.1%.

Summary table for September: 3, 0, 28, 8, 28.6%, 6, 21.4%.

Summary table for October: 4, 0, 28, 8, 28.6%, 5, 17.9%.

Summary table for November: 5, 0, 28, 8, 28.6%, 6, 21.4%.

Summary table for December: 6, 6, 22, 7, 31.8%, 6, 27.3%.

Summary table for January: 7, 0, 28, 8, 28.6%, 5, 17.9%.

Summary table for February: 8, 0, 28, 8, 28.6%, 7, 25.0%.

Summary table for March: 9, 0, 26, 6, 23.1%, 8, 30.8%.

(別紙 2)

令和〇年〇月〇日

株式会社 〇〇〇〇
〇〇 〇〇 殿

鹿児島県〇〇地域振興局長
〇〇 〇〇

週休 2 日実施証明書

下記工事について、週休 2 日の実施を証明する。

記

工 事 名 : 〇〇〇〇 工事 (〇〇 R〇 - 〇 I 区)
工 期 : 令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日
完成年月日 : 令和〇年〇月〇日

週休 2 日実施内容 (実施した内容に■を附している)

- 4 週 8 休を達成した。
- 4 週 7 休を達成した。
- 4 週 6 休を達成した。

「週休2日」試行工事の明示例

ご迷惑をおかけします

「週休2日」試行工事

○ ○ ○ ○ ○ ○ を
な お し て い ま す



燃ゆる感動

かごしま国体・かごしま大会

特別国民体育大会

特別全国障害者スポーツ大会

令和○○年○○月○○日まで
時間帯 ○:○○~○:○○

道路改築工事 (○○○○R○-○工区)

発注者 鹿児島県○○地域振興局

建設部○○○○課

電話 099-***-****

施工者 ○○○○○建設株式会社

電話 099-***-****

「週休2日」試行工事実施フロー

時点	項目	受注者	発注者
発注時	積算	—	4週8休以上の休日を確保した場合の補正係数を各経費に乗じた上で予定価格を作成 【実施要領第6条関係】
	特記仕様書	—	対象工事である旨を明示 【実施要領第4条関係】
契約後	意思表示	施工計画書提出前に実施の意向について「工事打合簿」により協議 【実施要領第5条第1項関係】	受理
		施工計画書提出時に休日の取得計画を記載した「休日取得計画実績表」を提出 【実施要領第5条第2項関係】	受理
実施中	準備	工事の標示施設に「週休2日」試行工事である旨を明示 【実施要領第5条第3項関係】	確認
	実施報告①	契約変更時に休日の取得実績を記載した「休日取得計画実績表」を提出 【実施要領第5条第4項関係】	工事日誌や出勤簿等により休日の取得実績を確認 【実施要領第5条第4項関係】 実施しない場合及び実施の結果、4週8休以上の休日確保に満たない場合は実施状況に応じて補正分を減額変更 【実施要領第6条関係】
完成時	実施報告②	工事完了後に最終の休日の取得実績を記載した「休日取得計画実績表」を提出 【実施要領第5条第4項関係】	工事日誌や出勤簿等により休日の取得実績を確認 【実施要領第5条第4項関係】